

テーマ名：浅部一深部地熱貯留層の接続性理解に関する国際共同研究開発

(2025～2028*) *予定

委託先：国立大学法人九州大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、三菱ガス化学株式会社



事業概要

目的

地熱開発に対する社会受容性の向上により利用拡大を図るため、地熱先進国での調査に基づき、開発が温泉へ及ぼしうる影響を科学的に評価するための指標を提示する。

研究開発の内容

- ・ 浅部温泉帯水層と深部地熱貯留層の接続性評価手法の確立
- ・ 地熱開発が温泉資源に与える影響評価
- ・ 温泉資源保護と地熱開発の両立に資する科学的根拠の整理
- ・ 地熱開発に関する社会的理解を支援する評価結果の可視化
- ・ 評価手法の汎用性検証
- ・ 将来的な地熱導入拡大に向けた国内地熱地域への適用可能性の検討

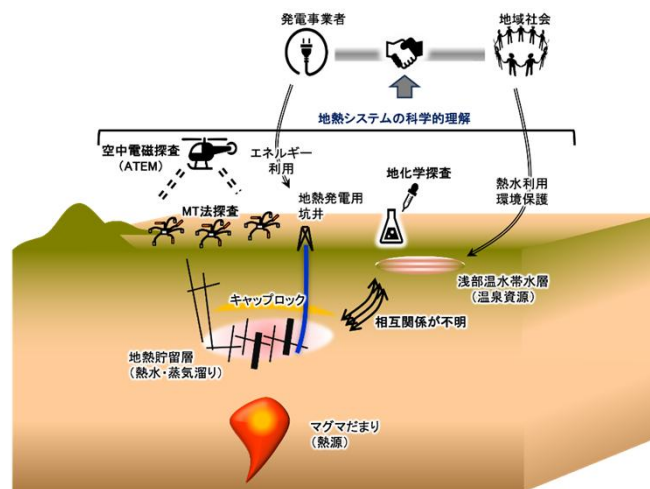


図1 本研究開発のイメージ

実施体制

NEDO

委託

九州大学
産総研
三菱ガス化学

共同研究
契約

ニュージーランド・
Earth Science
New Zealand

見込まれる成果

技術的成果

- ・ 浅部温泉帯水層-深部地熱貯留層の接続性評価手法の確立
- ・ 地球物理・地球化学情報を統合した精緻地熱概念モデルの構築

社会的・将来的成果

- ・ 地熱開発における影響評価の高度化と社会受容性の向上
- ・ 国内地熱地域への適用による地熱導入拡大への貢献

国際共同研究の意義

- ・ 地熱開発と温泉資源保護の両立に関する先進事例を有するニュージーランドとの連携
- ・ 浅部温泉帯水層と深部地熱貯留層が近接するタウポ火山帯の地熱地域を対象とした実証的研究
- ・ Earth Science New Zealandが保有する高品質な地球物理・地球化学データの活用
- ・ 日本側の高度なMT法構造解析・地熱概念モデル構築技術との相互補完
- ・ 科学的根拠に基づく地熱開発と温泉資源保護の両立モデルの構築
- ・ 得られた知見の国内地熱地域への展開可能性